

地球温暖化が着実に進行する中、我が国を含む世界各国が2050年カーボンニュートラルの実現に向けた動きを活発化させている。しかし、現在打ち出されている施策だけでは目標を達成できず、さらなる対策強化の必要性が訴えられている。本シンポジウムでは、政策、技術開発、金融のそれぞれの観点から現状と課題を見つめ、日本のカーボンニュートラル実現のために何が求められているのかを考える機会としたい。

SDGsシンポジウム

日本のカーボンニュートラル 実現に向けた道筋を考える

開催日程

2023
4.19 (水) 18:00-19:30

プログラム

18:00
主催者開会挨拶

18:10-18:30
基調講演

18:30-19:20
パネルディスカッション

19:20-19:30
質疑応答

開催方法

東京ミッドタウン八重洲カンファレンス(4F大会議室)
又はオンライン(Zoomウェビナー)
東京都中央区八重洲二丁目2番1号 (会場定員100名)

東京大学 執行役・副学長 社会連携本部長 **津田 敦氏**



カーボンニュートラル実現に向けたシナリオ分析がもたらすもの
東京大学 未来ビジョン研究センター 准教授 **杉山 昌広氏**



米マサチューセッツ工科大学にてPh.D.(気候科学)及び修士号(技術と政策)を取得。(一財)電力中央研究所社会経済研究所主任研究員等を経て2019年より現職。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第6次評価報告書第3作業部会の主執筆者を担当。専門は気候政策のシナリオ分析、長期エネルギー政策など。

日本のカーボンニュートラルに向けた道筋を考える

モデレーター

東京大学 大学院新領域創成科学研究科附属
サステイナブル社会デザインセンター センター長・教授 **亀山 康子氏**



1992年より国立研究開発法人国立環境研究所にて気候変動や持続可能性の国際交渉等の研究に従事。中央環境審議会委員、東京都や千葉県等の環境審議会委員を歴任。2022年5月より現職。専門は国際関係論。

パネリスト

経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 環境経済室
環境金融企画調整官 **井上 峰人氏**



国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
グリーンイノベーション基金事業統括室 主査 **木場 篤彦氏**



株式会社大和証券グループ本社 経営企画部
SDGs推進室 室長 **川那部 留理子氏**



モデレーター、パネリストに対する質疑応答



参加登録(無料)はこちら

- ・記載内容は予告なく変更される場合があります。
- ・会場参加登録者が定員(100名)に達した場合、オンラインによる参加となります。

<https://webform.adm.u-tokyo.ac.jp/Forms/sympo0419/>

